



2022年1月7日発行

拝啓

あけましておめでとうございます！

まだまだ寒い日は続きますがいかがお過ごしでしょうか？寒さで手がかじかみ、手袋が欠かせません。冷え性の方にはとてもつらい時期ですね…。暖かくしてお過ごしください。

さて、もう少しで後期の授業も終わりますね。自由な時間がたくさんあるので、お家でゆったりと長編小説の一気に読みをして過ごすなどいかがでしょうか？

かしこ

--今月号のラインナップ--

Calendar

2022年2月～2022年3月カレンダー

LiLian Special Info.

おうちでゆっくり読みたい！長編小説特集

今月の一冊

『ナミヤ雑貨店の奇蹟』

LiLian Interview

大橋陽先生（国際情報学部 国際情報学科）



2022年2月・3月 カレンダー

2月

○ 9:00 ~ 16:30

日	月	火	水	木	金	土
		1 休館	2 休館	3 休館	4 ○	5 ○
6 休館	7 ○	8 ○	9 ○	10 ○	11 休館	12 ○
13 休館	14 ○	15 ○	16 ○	17 ○	18 ○	19 ○
20 休館	21 ○	22 ○	23 休館	24 ○	25 ○	26 ○
27 休館	28 ○					

3月

○ 9:00 ~ 16:30

日	月	火	水	木	金	土
		1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
6 休館	7 休館	8 休館	9 休館	10 休館	11 休館	12 ○
13 休館	14 ○	15 ○	16 ○	17 ○	18 ○	19 ○
20 休館	21 休館	22 ○	23 ○	24 ○	25 ○	26 ○
27 休館	28 ○	29 ○	30 ○	31 ○		

最新情報は
HPをご確認下さい



LiLian Special Info.

* おうちでゆっくり読みたい！長編小説特集 *

きびしい寒さが続き、おうちで過ごす時間が増えてきましたね。

わたしはホットココアを片手に、こたつで本を読むのが大好きです。

みなさんも寒い日はあたたかいおうちの中で本を一冊、読んでみませんか？

ということで、今回はおうち時間にぴったりの「長編小説」をご紹介します♪

『蜜蜂と遠雷』恩田陸/著 913.6/O65/28 閲覧室 3F

音楽が聴こえてくるような読書体験ができる！？

ピアノコンクールを舞台に、4人の若手ピアニストの葛藤と成長が詰まっています。

構想に12年、取材に11年、執筆に7年もかけた大作で、著者渾身の傑作。

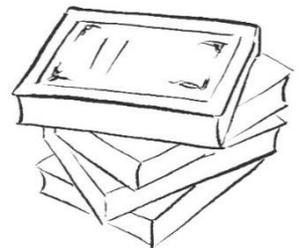
『みかづき』森絵都/著 913.6/Mo458/13a 閲覧室 2F(読書コーナー)

山あり谷あり涙あり。

塾業界を舞台に、親子三代に渡って奮闘を続ける家族たち…。

学ぶ喜び、そして導く喜びがキラキラと光った一冊。

教育に興味がある方は必読です！



『下町ロケット』池井戸潤/著 913.6/I335/2a(1)/B12

閲覧室 1F(文庫・新書)

夢を諦めない男たちの矜持が激突感動のエンターテインメント長編！

寒い時期に、熱くなれる小説はいかがですか？

ドラマを観た方もぜひ、この機会に原作も読んでみて下さいね。

『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』村上春樹/著

913.6/Mu437/10a 閲覧室 3F

読み応え抜群！異なる二つの世界が同時に進行する展開で、SF好きにおすすめです。一旦慣れると、きれいな文体で描く不思議な世界観とハラハラする展開に夢中に…。

普段読まないジャンルの本に挑戦するのもおもしろいかも？今回紹介した本はすべて大学図書館で借りられるので、ぜひ気軽にお読みくださいね♪

(LiLian* さや)



*** * * 今月の一冊 * * ***

『ナミヤ雑貨店の奇蹟』 東野圭吾/著

請求記号：913.6/H553/49 閲覧室 2F (読書コーナー)

寒い冬にこころ温まる本を読んでリラックスしてみませんか？

舞台は、あらゆる悩み相談に乗る不思議な雑貨店。そこでは人生最大の岐路に立つる人の、過去と現在を超えた手紙交換がはじまって…。張り巡らされた伏線が奇跡のように繋がり合う話がやさしいタッチで描かれています。

感動したい、泣きたい方におすすめ！

やさしさが詰まった本書をどうぞご堪能ください♪

(LiLian* さや)



LiLian Interview

大すきな先生にインタビューに行こう 46

国際情報学部 国際情報学科

大橋陽 先生



大橋先生は
図書館長です

1. 趣味や好きなことは何ですか？

三つあげたいと思います。国内でも海外でも旅行が好き、車の運転が好き、あとは、海外ドラマを観ることが好きです。一番運転したのはアメリカのアリゾナ州に行った時で、一日で500マイル(=800km)くらい運転しました。グランドサークルの中にいくつか見どころがあって、そのひとつひとつの距離が長く、フラッグスタッフから、ホースシューベント、アンテロープキャニオン、モニュメントバレーまで行き、戻ってくるというルートで、朝の6時に出て、帰ってきたのが夜の11時頃でした。

2. 今までで特に印象深かった作品は何ですか？

本の話は後からするので、海外ドラマで好きな作品についていうと、最初にはまった海外ドラマが『24—TWENTY FOUR—』で、そこから色々見て、『THE WIRE』が特に印象深かったです。ボルティモアの黒人の貧困層の暮らしや麻薬売買の話から、教育やジャーナリズムなどシーズンが進むごとにテーマが深まっていき、アメリカ社会の仕組みをよく表していると思います。

3. 最近あった良いこと・悪いことは何ですか？

良いことは、六花亭のバターサンドを久しぶりに食べたことです。それから、ケロトツツオ(注)ももらいました。悪いことは、ディーラーで車のバッテリーを交換してもらったらすごく高くて、4万円くらいかかったことです。

(注) 名古屋銘菓「カエルまんじゅう」の進化系マリトツツオ（イタリアのお菓子）

4. 今挑戦したいことは何ですか？

縄跳びで「はやぶさ」をやりたいです。子どもの小学校が、縄跳びを重点活動にしている、難しい技も簡単にやってしまい、悔しいので自分も負けずにやれるようになりたいです。



5. 学生時代の思い出は何ですか？

大学に入学した最初の頃は、第一志望ではないこともあってあまり楽しくなかったのですが、400人以上入れる教室があふれる程人気だった「社会科学概論」という授業がとても興味深かったです。その授業では富（＝経済）、権力（＝政治）、神（＝宗教）、愛（＝倫理）が人間を動かしていて、それらを動かすルールを決めるのが社会で、そのルールを研究するのが社会科学である、非常に面白いものだという事を18歳にして知りました。研究者を志すきっかけになったので、一番の思い出です。

6. 大切にしている教訓は何ですか？

“ When it is dark enough, you can see the stars.” というラルフ・エマーソンの言葉です。直訳すると、「暗闇にいても星は輝いている」という意味になります。人生で何の手がかりもない最悪なとき、暗闇にいるからこそ普段見えないような星が輝いているのが見えるという、自分があまりポジティブではないので、こういうポジティブな教訓が好きです。

7. 本気で好きな本は何ですか？

ハナ・グリーンという人が書いた『デボラの世界』です。『分裂病の少女』というサブタイトルで、今でいう統合失調症のデボラは現実と仮想の世界の区別が分からなくなってしまうのですが、正気の時もあってその時は病気が治ったらいいな、幸せだろうなと思います。ですが、主治医は「あなたにバラ園（楽園）を約束することはできない」と言います。むしろ病気が治ったからこそ喜怒哀楽があって、つらいことや悲しいことを感じられるようになるのが治るということなのだと言います。人はここに行けば幸せになれると考えるものですが、そういうつらいときに読んでみるととても勉強になると思います。

8. 金城学院大学の学生に伝えたいことは何ですか？

『アラバマ物語』を書いたハーパー・リーという女性の名言で、「人間の良心は多数決に従うものではない」と言っています。周りがこうだからとか、これは言っただけいけないのではないかとかが思いがちですか、本当の正解の道は、皆が思っているからということを決めるのではなく、自分で選ばなければいけないのだと思います。「自分の良心に従って信じることを大切に」ということを主張してほしいです。

～インタビューを終えて～

旅行が好きということもあり、実に豊富な経験をされていて、本当に驚かされることばかりでした。たくさんのエピソードをお聞きすることができ、アメリカの面白いところ、怖いところなどに詳しくなれたような気がします。先生のスイーツ好きな一面も知ることができ、とても充実した時間になりました。

この度はお忙しい中インタビューを受けていただき、ありがとうございました！

(リリアン*新井)



～紹介された本（金城学院大学図書館所蔵）～

『デボラの世界』 ハナ・グリーン著

請求記号：9 3 3 /G825//

『アラバマ物語』 ハーパー・リー著

請求記号：9 3 3 /L51//

